学校番号	322

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史演習	単位数	３単位	年次	３年次 （普通科）
使用教科書	高校日本史（山川出版社）						
副教材等	最新日本史図表（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 演習問題などを通して日本史に関する課題をみつけ、探究するテーマを明確にし、解決策・最善策を検証していく。共同討議を繰り返し、課題解決に取り組むことによって相互理解を深め、基礎的知識を習得させる。
② 歴史事象にとらわれず、社会で起こっている時事的な事例や課題に関する資料などを活用し、興味・関心をもたせて現代社会と世界歴史の理解を深めさせる。
③ ＩＣＴを活用し、現代の諸課題について生徒ひとりひとりの「調べ学習」やレポート作成などもおこない、興味関心にとどまることなく、社会参加、問題解決の手がかりを発見していく。
生徒が全体の場で発表する機会を設け、主体的かつ思考と探究を充実させる。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
日本の歴史的な見方考え方を捉え考察・思考し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，問題解決に必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
歴史的事象の課題の解決に向けて，思考・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史や事象を幅広く学ぶことにより、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、様々な問題に対する理解を深め、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身につけるようにする。	日本の歴史大きな枠組みのなかの諸事象の意味や意義、特色や背景などを時期や年代、相互の関係や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、課題解決の力を身につけるとともに、的確な判断ができるようにする。	日本の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に入れ、様々な課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的多角的な考察や理解をとして日本国民としての自覚、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近世から近代へ	・開国とその影響 ・幕府の滅亡と新政府の発足	a:演習問題を通して開国について幅広く理解し、そのうえで広い視野にたって、多角的、多面的に理解している。 b:問題解決に向けて、十分に考察・思考できている。 c:江戸時代末期について興味・関心をもち、課題の解決を主体的に見出そうとしている。	定期考査	定期考査 ワーク学習 課題研究ﾉｰﾄ	レポート 主体学習 発表
	近代国家の成立	・明治維新 ・立憲国家の成立	a:時代の移り変わりについて理解している。 b: 問題解決に向けて、十分に考察・思考できている c: 演習問題に取り組み諸地域の国家形成について課題を主体的に追及・解決しようとしている。問題解決に必要な情報を主体的に収集する力を身につけている。	定期考査	定期考査 ワーク学習 課題研究ﾉｰﾄ	レポート 主体学習 発表
		個人･グループによる調べ学習 ① 「明治時代初期」の日本を中心に世界との関連について広い視野からこのテーマについて考える。 ② 「日本と諸外国の結びつきについて」 不平等条約を軸にテーマを設定し、調べたことを発表する できるだけグループで調べる機会を設定する。	b:他者の意見についても十分に考察し、正しい問題解決に向けて主体的な活動を実践している。 c:問題点を明確にし、主体的に考えようと取り組んでいる。		レポート 調べ学習	レポート 発表

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	近代国家の展開と国際関係	・大陸政策の展開 ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制	a: 演習問題を通じて幅広く理解しそのうえで広い視野にたって、多角的、多面的に理解している。 b:世紀ごとの世界各地の発展について幅広くとらえ、十分に考察・思考できている。 c: 世界各地の事象について興味・関心をもったこと、疑問に思ったことなどを主体的に見出そうとしている。	定期考査	定期考査 ワーク学習 課題研究ﾉｰﾄ	レポート 発表ﾄ
	近代の産業と生活	・近代産業の発展 ・近代の文化 ・市民生活の変容と大衆文化	a:世界各地の産業の発展について理解している。 b: 世界の諸地域の繁栄について納得できる問題解決に向き合えている。 c: 市民生活の変容について課題を主体的に追及・解決しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	レポート 発表
2学期	恐慌と第二次世界大戦	・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	a: 演習問題を通じて幅広く理解しそのうえで広い視野にたって、多角的、多面的に理解している。 b: 諸事象の意味や意義、特色や背景などを時期や年代、相互の関係や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し世紀ごとの世界各地の発展について幅広くとらえ、十分に考察・思考できている。 c: 世界各地の事象について興味・関心をもったこと、疑問に思ったことなどを主体的に見出そうとしている。	定期考査	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	レポート 発表

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3学期	現代の世界と日本	・占領下の改革と主権の回復 ・55年体制と高度経済成長 ・現代の情勢	a:演習問題を通して、世界各地の帝国主義、世界大戦の関係について問題や諸資料から適切な情報をまとめる技能をみにつける。 b: 世界大戦について様々な観点からの課題を把握し、解決を視野に入れて考察・思考、判断する力を身につける。 c: 諸地域の大きな枠国と諸事情について主体的に探求しようとする態度を養う。	定期考査	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	レポート 発表
		・冷戦と第三世界の台頭 冷戦の展開 第三世界の台頭とキューバ危機 冷戦体制の動揺 ・冷戦の終結と今日の世界 産業構造の変容 冷戦の終結 今日の世界 現代文明の諸相	a:演習問題を通して、大戦後の世界各地の諸事象、諸課題について諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身につけるようにする。 b: 大戦後の世界各地の諸事象、諸課題について様々な観点からの課題を把握し、解決を視野に入れて考察構想する力を身につける。 c: 大戦後の世界各地の諸事象、諸課題について主体的に探求しようとする態度を養う。	定期考査	定期考査 提出ﾉｰﾄ	レポート 提出ﾉｰﾄ
3学期		個人・グループによる調べ学習 「第二次大戦後の世界と 未来の平和 むけての今日的課題」 これからの世界平和にむけてグループごとにテーマを探し調べたことを発表する できるだけグループで調べる機会を設定する。	b：他者の意見についても十分に考察し、正しい問題解決に向けて主体的な活動を実践している。 c：問題点を明確にし、主体的に考えようと取り組んでいる		提出ﾉｰﾄ レポート	レポート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度